

エリザ (1995)

ELISA

メディア 映画

ジャンル ドラマ アクション

製作国 フランス

色彩 Color

時間 115分

初公開日 1995/07/22

公開情報 K U Z U I

【解説】

91年にこの世を去ったセルジュ・ゲンズブールのヒット曲“エリザ”をタイトルに、彼に捧げられた作品。一枚の絵葉書を頼りに、母を捨て自殺に追い込んだ父への復讐を誓う孤児院育ちのヒロインの姿を描く。出演は「白い婚礼」の“フレンチ・ロリータ”V・パラディ。作曲家の夫に捨てられ、人生に絶望したエリザは、娘マリーを枕に押しつけ自分は拳銃で自殺した。辛うじて生き延びたマリーはその後、孤児院に預けられ少女へと成長。良く言えば要領が良く、悪く言えばずるがしこい娘に育ったマリーは、気さくな性格と、大胆な行動力で同年代のガールフレンドのソランジュと、まだ幼い黒人少年のアーメットと共に日々の生活を満喫していた。しかし、その裏に母と自分を捨てた父への憎しみを強く抱いていた彼女はある日、行方不明の父への復讐のために旅立つ……。

下手に描けば単なるメロドラマにしか成り得なかったこの物語が、印象的な佳作と化したのは、的確な配役にあるだろう。パラディが演じる妙に大人びて生意気なヒロインへの苛立ちが、父親扮するドパルデューと絡むにつれ、幼く可愛気があり、またさびしげでいとおしく感じられるようになるくだりは感服。友人を演じるクローとサルもストーリーに微妙な味わいをつけている。

【クレジット】

監督	ジャン・ベッケル	Jean Becker
製作	クリスチャン・フェシュネール	Christian Fechner
脚本	ジャン・ベッケル	Jean Becker
	ファブリス・カラゾ	Fabrice Carazo
撮影	エチエンヌ・ベッケル	Etienne Becker
音楽	ズビグニエフ・プレイスネル	Zbigniew Preisner
	セルジュ・ゲンズブール	Serge Gainsbourg
	ミシェル・コロンビエ	Michel Colombier
出演	ヴァネッサ・パラディ	Vanessa Paradis
	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	クロチルド・クロ	Clotilde Courau
	セクー・サル	Sekkou Sall
	フローレンス・トマシン	Florence Thomassin
	ワーナー・シュレイヤー	Werner Schreyer
	メルヴィル・プポー	Melvil Poupaud
	ベルナール・ヴェルレー	Bernard Verley